## 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	宇部市訪問型家庭教育支援チーム「桃山」 (こどもえがおサポートチーム(桃山))
②活動拠点	宇部市立桃山中学校 宇部市立新川小学校 宇部市立小羽山小学校
③活動範囲	同上(各地区)
④組織体制	3人 スクールソーシャルワーカー1人 訪問型家庭教育支援員2人(小学校区ごとに1名配置)
⑤活動開始年度	令和2年度(2020年度)
⑥問合せ先	宇部市教育委員教育支援課 (TEL) 0836-34-8630 (FAX) 0836-22-6066 (E-mail) g-anshin@city.ube.yamaguchi.jp

## (2)活動内容について

① <b>活動形態</b> (複数チェック可能)	□保護者 <u>等</u> への学びの場の提供
	□ <u>保護者等への</u> 地域の居場所づくり
	☑ <u>アウトリーチ</u> 型家庭教育支援 <u>(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)</u>
	■ (☑自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	☑保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	☑その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	☑その他(子育てサロンの開催等)
_	☑乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)
②活動対象	☑中学生 □高校生以上
(複数チェック可能)	の不登校傾向の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【毎月の学校との連絡会議】 毎月初旬に、地区内の小中学校長とこどもえがおサポートラ 会が参加する連絡会議を開催して情報交換を行い、支援対象 れる。	
	【家庭訪問支援】 連絡会議で学校から支援依頼のあった家庭への訪問を行う て登校支援や、専門機関への橋渡し等を行う。	う。また、必要に応じ
	【地域・学校行事等への参加】 地域のお祭りや運動会等の行事に参加することにより、児童 るとともに、支援家庭との関係づくりや情報収集の場として活用	
	【こどもえがおサポートチーム連絡会議】 学期ごとに全チームが集まり情報交換を行い、適宜、研修会	会も開催する。
	【えがお de サロンの開催】 保護者懇談会等の学校行事日に合わせて、校内にて子育を 軽に足を運べる相談の場を提供すると共に、保護者同士の動 サポートを行う。	
	【その他】 県主催の家庭教育アドバイザー養成講座・ステップアップ記 参加し資質向上に努めている。 他部署や民間団体と連携し、生活支援や学習支援等も合わ	
<ul><li>④活動の成果</li><li>(活動実績がある場合)</li></ul>	  ・個別訪問や登下校支援(点の支援)、子育てサロンの開催(	面の支援)を実践する
	ことで、誰一人取り残さない社会の実現を目指しています。	
	・毎月の学校での連絡会議により、学校との情報共有が徹底	され、また小中学校間
	の切れ目のない支援に繋がっています。	
	・家庭訪問による傾聴で終わるのではなく、必要に応じて関係	、機関と連携したり、専
	門機関へ繋いだりするケースが増えています。	
⑤活動財源	□文部科学省補助事業(事業名:	)
	□文部科学省委託事業(事業名:	)
	□厚生労働省事業(事業名:	)
(複数チェック可能)	☑地方公共団体単独事業として実施	
	口特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)	
	口その他の支援により活動を実施	
	(	)